



特定非営利活動法人 S T S フォーラム  
『 科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム 』

Science and Technology in Society *forum* (STS *forum*)  
Non-Profit Organization



メンバーシップのご案内

## Members / Partners of the STS forum

(In alphabetical order of countries)

\*New members 2019

### オーストリア

1. AVL List GmbH

### ベルギー

2. Solvay S.A.

### カナダ

3. Fonds de recherche du Québec
4. National Research Council Canada

### 中国

5. Huawei Technologies Co., Ltd.

### フランス

6. Électricité de France (EDF) SA
7. Sanofi SA
8. Total S.A.

### ドイツ

9. German Academy of Sciences Leopoldina
10. Robert Bosch Stiftung GmbH
11. German Research Foundation (DFG)

### インド

12. Biotechnology Industry Research Assistance Council (BIRAC)
13. Escorts Limited
14. Godrej Industries Limited
15. Reliance Industries Limited
16. State Bank of India
17. Tata Consultancy Services Limited
18. Toyota Kirloskar Motor Pvt. Ltd.

### イタリア

19. National Research Council (CNR)

### 日本

20. 味の素株式会社
21. ANA ホールディングス株式会社
22. 中外製薬株式会社
23. 第一三共株式会社
24. ダイキン工業株式会社

25. 東日本旅客鉄道株式会社
26. 富士通株式会社
27. 株式会社日立製作所
28. 本田技研工業株式会社
29. 株式会社堀場製作所
30. 出光興産株式会社
31. 株式会社 I H I
32. 日本たばこ産業株式会社
33. 日本電子株式会社
34. JXTG エネルギー株式会社
35. 花王株式会社
36. 川崎重工業株式会社 \*
37. KDDI 株式会社
38. 株式会社神戸製鋼所
39. 株式会社三菱ケミカルホールディングス
40. 三菱商事株式会社
41. 三菱電機株式会社
42. 三菱重工業株式会社
43. 株式会社みずほフィナンシャルグループ
44. 株式会社三菱 UFJ 銀行
45. 村田機械株式会社
46. 日本電気株式会社 \*
47. ニチコン株式会社
48. 新日鐵住金株式会社
49. 日本電信電話株式会社
50. 日産自動車株式会社
51. 野村ホールディングス株式会社
52. 沖縄電力株式会社
53. オムロン株式会社
54. 日本オラル株式会社
55. 大崎電気工業株式会社
56. パナソニック株式会社
57. ローム株式会社
58. 株式会社島津製作所
59. 住友化学株式会社
60. 株式会社三井住友銀行
61. 武田薬品工業株式会社
62. 株式会社竹中工務店
63. 東京海上日動火災保険株式会社
64. 東京エレクトロン株式会社
65. 東京ガス株式会社
66. 東レ株式会社
67. 株式会社東芝
68. トヨタ自動車株式会社

### 韓国

69. SK Telecom \*

### マレーシア

70. Malaysian Industry-Government Group for High Technology (MIGHT)

### オランダ

71. Elsevier
72. Royal Dutch Shell

### オマーン

73. Saud Bahwan Group

### カタール

74. Qatar Foundation

### ロシア

75. Fund for Infrastructure and Educational Programs (Rusnano)
76. R-Pharm

### サウジアラビア

77. King Abdulaziz City for Science and Technology (KACST)
78. Saudi Aramco

### シンガポール

79. CapitaLand Limited
80. Global Gene Corp
81. Nipsea Management Company Pte Ltd

### 南アフリカ

82. Department of Science and Technology (South Africa) \*

### スイス

83. ABB
84. Novartis International AG
85. Philip Morris International Management S.A.

### 台湾

86. Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd. (TSMC)
87. VIA Technologies, Inc.

### タイ

88. PTT Public Company Limited
89. The Siam Cement Public Company Limited \*

### トルコ

90. Arçelik A.Ş.

### 英国

91. Anglo American plc
92. British American Tobacco Plc.
93. GCM GLOBAL ENERGY
94. GE Healthcare Life Sciences \*

### 米国

95. Applied Materials, Inc.
96. IBM
97. World Resources Company

### American Associates of the STS forum (AA-STS)

98. Bristol-Myers Squibb Company
99. Carnegie Corporation of New York
100. Gordon and Betty Moore Foundation
101. The Kavli Foundation
102. Lockheed Martin Corporation
103. Simons Foundation \*
104. Symantec Corporation \*
105. Thermo Fisher Scientific
106. UL LLC

### Supporting Members

107. 大阪ガス株式会社 (日本)
108. 株式会社りそな銀行 (日本)

注) 上記リストに掲載していない法人会員: 2

## 特定非営利活動法人 STS フォーラム 設立趣旨

20世紀までの科学技術の急激な発展は、人類に繁栄と生活の質の向上をもたらした。しかし、科学技術の進歩は、倫理上、安全上及び環境上の重大な問題を惹起しており、科学技術の応用を誤ることによって人類自身の将来が脅かされる可能性もある。科学技術は、21世紀にその歩みを加速し、持続的な人類の発展をもたらす鍵として期待されている。我々はその叡智を結集して、こうした科学技術を適切にコントロールしていく必要がある。

我々が直面している最も切迫した問題は、経済成長と地球温暖化との調和、テロリズムの防止、感染症の制御、クローン技術に関して期待される健康上の利益と倫理に関する評価である。これらの問題に取り組む国際的な努力が今これまで以上に必要とされている。これがまさに「科学技術の光と影」を象徴している。科学技術がもたらすチャンスは活用しなければならぬが、科学技術に伴うリスクはコントロールしなければならない。健康を維持すること、人類の生存に必要なエネルギー需要を充足することをはじめとして、人類の快適な生活を支える多くのことが科学技術の継続的な進歩に依存している。同時に、科学技術の恩恵は世界のすべての人々に及んでいるわけでない。従って、人類の抱える諸問題を解決しうる科学技術の普及を妨げる種々の障壁について検討を深めることが必要とされている。

我々が直面している問題は、グローバル化と国際競争を背景にますます複雑化しているため、一国だけでは解決できるものではない。また、これらの問題は、その多くが社会システムの見直し、国際協力、世界規模のネットワーク及び共通のルール形成を通じて解決策が見出されるものであるため、科学者のみによって構成される科学コミュニティだけで解決できるものでもない。

今こそ、科学技術の研究者だけでなく、世界中の政治家、経営者、ジャーナリストなどのオピニオン・リーダーが21世紀の科学技術の問題を議論することが期待されている。

「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)」の目的は、非公式な立場で率直に議論するメカニズムを提供し、今後、科学技術の応用から生じる新たな問題を解決できるような人的ネットワークを構築することである。また、科学技術から生まれるチャンスを探求するとともに、科学技術を利用して人類が直面する諸問題を解決する上で障壁となるものをいかにして克服するかについても対策を講じていくことである。

本フォーラムの参加者には、それぞれの国や組織の代表としてではなく個人として参加し、自らの見解を表明することが期待される。本フォーラムは、専門家が聴衆に一方的にその知識を伝えるのではなく、むしろ同じ志を持つ同士が真剣に話し合う場を提供するものであり、参加者には共通の価値観と将来への責務の確立に向けて、国境を越えた取り組みを行うことが求められる。

以上の認識に基づき、平成16年11月14日から16日にかけて京都において第1回「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)」が開催された。また、第2回「STSフォーラム」が平成17年9月11日から13日にかけて京都において開催され、国内外の多くの参加者からこの会議の開催を評価する声があがっているところである。

このような状況を踏まえ、設立総会で今後この「STSフォーラム」を年1回京都で開催することの決定がなされ、「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)」の開催を目的として、「特定非営利活動法人 STS フォーラム」を設立するものである。

平成17年9月

## STS フォーラムのメンバーシップ (会員)

特定非営利活動法人 (NPO法人) STSフォーラムは国際会議STSフォーラム (科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム) を主催し、また長期的に開催することを目的として、2006年3月に設立されました。STSフォーラムの目的に賛同され、メンバー (会員) になることに同意頂けます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入のうえ、STSフォーラム事務局までお申し込み下さい。

### メンバーになって頂きたい方々について

STSフォーラムの使命、目標に賛同して頂ける法人や財団等、特に科学、技術、イノベーションに力を入れている組織や個人の方々にご支援をお願いしております。

### メンバーシップ年会費について

200万円 (1年あたり)

- **メンバーシップの年会費は200万円\*です。**
- STSフォーラムの事業年度 (1月1日から12月31日まで) のいつご入会されても、年会費は全額とさせていただきます。
- メンバーシップは毎年度自動的に更新されます。なお、退会の場合には退会届をご提出下さい。

### メンバーシップの特典について

- **年次総会に1組織あたり2名様をご招待 (参加費免除)**
- **フューチャー・リーダーズ・プログラムへの参加権 (1組織あたり1名/参加費7万円)**  
ご参加は40歳以下の方限定。上記の2名のご招待枠 (参加費免除) はご利用になれません。
- **CEOランチミーティングおよびCTOミーティングへの優先的なご招待**
- **会議エリアへの社名提示および 会議資料への会員リストの掲載**
  1. 全参加者に配布するガイドブック (参加者名簿)
  2. セッションの合間の全体会議場 (メインホール) スクリーンおよびレセプション・エリアに設置されるスクリーン
  3. STSフォーラムのホームページ
  4. STSフォーラムのサマリー (議事概要)
- **リード・スポンサーまたはレギュラー・スポンサーへの昇格権**
- **会場内のミーティング・ルームの優先予約受付**
- **STSフォーラム主催の特別なイベントやプログラムへのご招待**
- **NPO法人STSフォーラムの総会\*\*における1票の投票権限**

### メンバーシップに関する連絡先

STSフォーラム事務局  
事務局長 尾身 朝子 総務 山本 百子  
TEL: 03-3519-3351 / FAX: 03-3519-3352  
E-mail: [member@stforum.org](mailto:member@stforum.org)

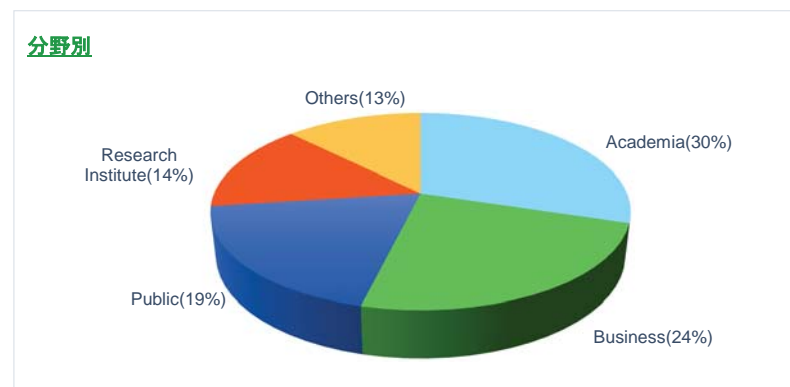
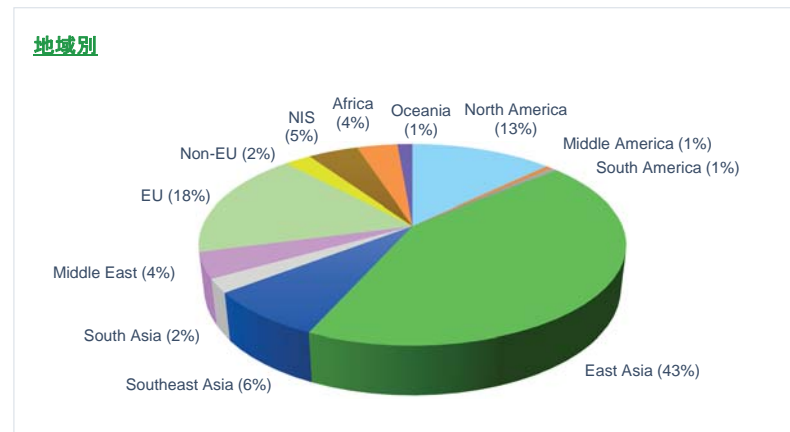
\* 年会費の返金や他人へ権利の譲渡はできません。

\*\* NPO法人 STS フォーラムの総会は、NPO法人のメンバーの参加のもと次の事項を審議します。  
1) 定款の変更、2) 解散、3) 合併、4) その他運営に関する重要事項。

## 参加者の構成

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）は様々な分野を代表するリーダー達が世界中から集まるグローバル・ネットワークです。

STSフォーラム 第15回年次総会（2018年10月7-9日）の参加者詳細は以下の通りです。



© 2019 STS forum (NPO) - All rights reserved.  
 No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means, including photocopying and recording, or by any information storage and retrieval system, without the consent of the rightful owner.

年 月 日

宛 先：  
 特定非営利活動法人 STS フォーラム  
 理事長 尾身 幸次

住 所 : \_\_\_\_\_

法 人 名 : \_\_\_\_\_

代表者名 : \_\_\_\_\_ 印  
 (個人氏名)

## 特定非営利活動法人 STS フォーラム メンバーシップ申込書

特定非営利活動法人 STS フォーラムの設立趣旨に賛同し、メンバーシップの申し込みを致します。  
 (プログラム等に印刷しますので、正式な社名をお書きください。)

### 【メンバーシップ登録名】

法 人 名 : \_\_\_\_\_

法人名 (英語) : \_\_\_\_\_

### 【ご担当者連絡先】

住 所 : 〒 \_\_\_\_\_

所 属 ・ 役 職 : \_\_\_\_\_

氏 名 : \_\_\_\_\_

電 話 番 号 : \_\_\_\_\_ FAX番号 : \_\_\_\_\_

E-mailアドレス : \_\_\_\_\_

本申込書をSTSフォーラム事務局宛に、E-mail (PDFにて member@stsforum.org)、  
 FAX (03-3519-3352) または郵送にてお送り下さい。折り返し年会費の請求書を発行させていただきます。

